

## (仮称) 環境政策情報発信・交流拠点施設 基本構想 (案)

基本構想は、多くの皆様の想いを具現化するため、次に掲げる4点を基本としつつ、別紙(一覧表)に示す多くのアイデアを可能な限り取り入れることを目指して策定されたい。

### 1 集う人々

施設は誰もが自由に利用できることが前提としつつ、次の人々を主な利用者と捉える。

- ・学生などの若い世代の市民
- ・亀岡市を訪れる観光客やビジネスマン
- ・様々な「環境」の活動を展開する市民や団体

### 2 求める機能

ワークショップに参加された多くの皆様の想いを実現するため、施設には次の機能を付与する。

- ・様々な人々が取り組む環境活動や、アユモドキをはじめとする、豊かな自然環境などを発信する「インフォメーションエリア」
- ・利用する人と人、亀岡市の内と外が繋がる「コミュニケーションエリア」
- ・キッチンカーによって亀岡グルメを堪能できる、周辺エリアの活用も視野に入れた「飲食エリア」
- ・亀岡産のアップサイクル製品であるHOZUBAGや、地元産京野菜などを販売する「物販エリア」

### 3 必要な設備

ワークショップに参加された多くの皆様の想いを実現するため、また、誰もが自由に利用できる施設を目指すため、次の設備を設置する。

- ・バリアフリー設備 (トイレ、エレベーター、点字案内、多言語案内など)
- ・キッチンカーなどの特定車両用駐車スペース
- ・太陽光発電設備
- ・公衆無線LAN
- ・その他、施設の構想実現に必要な設備

### 4 建物のコンセプト

建物は、次のコンセプトを念頭に整備する。

- ・隣接する「いきいきガーデン」や保津川などの自然景観と調和した建物
- ・誰もが気軽に立ち寄り、利用できる建物
- ・亀岡産(京都産)木材や間伐材を活用した、地産地消を体現した建物
- ・オープンデッキや屋上、景色を切り取ることでできる大窓などを配した、保津川や山々の美しい眺望を活かした建物